

資料1

佐倉市文化財保存活用地域計画の進捗管理及び評価について

本議題につきましては、会議進行の都合上、

事務局説明を省略し、質疑・意見交換のみを会議の議題といたします。

あらかじめ資料をご一読くださいますようお願いいたします。

佐倉市文化財保存活用地域計画の進捗管理及び評価について

1 進捗管理・評価について

- ・「佐倉市文化財保存活用地域計画」の計画期間が令和6年度から開始となったことに伴い、従来行ってきた前年度事業報告を、計画の進捗管理及び評価の形で取りまとめ、報告するものです。
- ・次の2点を主眼に、計画の進捗管理及び評価を行っています。
 - ①計画に位置付けられた措置（取組）の着実な実施を推進する。
 - ②計画に基づく措置（取組）を実施することによって、佐倉市が計画の将来像及び目標の実現に向かって進んでいるかを確認する。

2 進捗・評価シートの見方について

（1）令和7年度の主な取組実績・成果

- ・9つの「大方針」ごとに、前年度に取り組んだ措置（取組）の内容について記載しています。
- ・従来、審議会へご報告してきた各年度の事業報告と、ほぼ同等の内容です。

（2）取組の進捗

- ・9つの「大方針」ごとに、措置（取組）の進捗状況を次の3段階で評価しています。
 - ：十分進んでいる
 - △：一部進んでいる
 - ×：進んでいない

（3）成果指標（4、7、10ページ）

- ・将来像や目標への到達度を測る指標として、3つの「方向性」ごとに指標を各数個設定し、数値の変化を見ていくこととしています。
- ・ほとんどが市で直接的に関与することができない数値であり、毎年コンスタントに増加等する数値ではありませんが、長い目で見て計画の「将来像」及び「目標」の実現に向かって進んでいるかを測定するための数値です。

（4）関連文化財群、文化財保存活用区域 進捗評価シート（11～13ページ）

- ・本計画期間に措置（取組）を推進することとされた2つの「関連文化財群」及び1つの「文化財保存活用区域」について、前年度に取り組んだ取組の内容について記載するとともに、進捗状況について3段階で評価しています。
- ・内容は、主に上記（1）計画本編の取組実績の再掲です。

佐倉市文化財保存活用地域計画 進捗・評価シート

		No.	1
方向性	1	「知らない」を「知っている」に ～把握調査・情報発信～	
大方針	①	把握調査の推進と、正確かつ魅力的な情報の掘り起こし	
方針	①	情報発信の前提となる把握調査や指定・登録の推進	
令和7年度の主な取組実績・成果			
1. 現状の把握が不十分な未指定文化財の把握調査			
①佐倉市内美術工芸品把握調査			
・市内6か所の寺院の調査を実施			
・印旛沼周辺の信仰に関わる平安期の仏像、千葉氏・仏師浄慶に関わる戦国期の仏像等を把握			
2. 市内重要遺跡の調査			
①発掘調査			
・発掘委託（法92条）：3件			
〔神門道乗谷津遺跡（2）－2、城山ノ作遺跡（第2次）、上志津干場遺跡（第8次）〕			
・整理委託：3件			
〔西御門新山1号墳他、臼井田宿内砦跡（第3・4・6次）、生谷松山遺跡（第1次）〕			
・発掘調査（直営）（法99条）：18件〔臼井台手繰遺跡（第5次）他〕			
②測量調査			
・地形測量：佐倉城跡、上峠城跡			
③報告書刊行			
・令和6年度佐倉市埋蔵文化財発掘調査報告書（令和7年度発行）…西御門新山1号墳 他			
・臼井田宿内砦跡（第3・4・6次）発掘調査報告書			
・城山ノ作遺跡（第2次）発掘調査報告書			
・鍋山西ノ切遺跡（第5次）他4遺跡発掘調査報告書			
3. 文化財の指定・登録の推進			
①佐倉市文化財審議会			
・令和7年6月30日 令和7年度第1回会議 開催			
主な内容 立崎家住宅の国登録について（諮問）			
・令和8年3月11日 令和7年度第2回会議 開催			
主な内容 宝金剛寺蔵「銅製 宝冠」「玉幡」「金銅幡」について			
佐倉市内寺社美術工芸品把握調査について			
旧堀田正倫庭園の網代垣修理について、立崎家住宅の国登録申請について			
武術立身流の保持者追加認定について			
②文化財指定（登録）			
・立崎家住宅（清風居） 主屋1棟 国登録（令和8年3月26日に答申）			
取組の進捗		十分進んでいる	

佐倉市文化財保存活用地域計画 進捗・評価シート

		No.	2
方向性	1	「知らない」を「知っている」に ～把握調査・情報発信～	
大方針	②	より訴求力の高い一貫した情報発信方法の設定	
方針	②	佐倉の歴史文化を「知らない」人に向けたメッセージの創出	
	③	メッセージを踏まえた「追体験」「新体験」による普及啓発	
令和7年度の主な取組実績・成果			
1. 文化財の持つそのものの価値や魅力をより深く知ってもらう「追体験」の企画・実施 ・文化財施設特別公開 6回実施 計2,225人入館 ・甲冑試着会 5回実施 計113人参加 ・夏休み文化財施設小中学生無料公開（対象：市内外の小・中学生）412人入館 ・佐倉ばやし演奏会（8月16日） 215人参加 ・井野長割遺跡現地見学会 （8月5日）82人参加 （3月1日）141人参加 ・井野長割遺跡講演会・パネル展示（12月13日） 150人参加 ・井野長割遺跡ワークショップ（8月23日） 12人参加 （2月14日） 10人参加 ・本佐倉城跡現地見学会（3月7日） 80人参加 2. 文化財の持つそのものの価値や魅力に別の価値や魅力を付加する「新体験」の企画・実施 ・旧堀田正倫庭園活用事業（民間団体による主催、市共催） 庭と音楽と夕暮れ ヒーリング音楽の演奏（宮内優里）（5月25日）134人参加 ・佐倉城跡でのアート&クラフトフェア・チバ「にわのわ」の実施（6月7日・8日） ・「北総四都市メタバース」佐倉市部分（ひよどり坂・佐倉城）デモプレイ ツーリズム EXPO ジャパン（9/26・27）、日本遺産フェスティバル（10/25・26） NARITA BEYOND 成田空港第一ターミナル（2/1） 日本遺産マルシェ（2/14・15）、シン・マチマーケット（3/14）など			
取組の進捗		十分進んでいる	

		No.	3
方向性	1	「知らない」を「知っている」に ～把握調査・情報発信～	
大方針	③	効果的・継続的な情報発信	
方針	④	既存・新規のツールを活かした効果的な情報発信	
	⑤	歴史文化に関する継続的で幅広い展示の充実	
令和7年度の主な取組実績・成果			
1. SNS等の活用による戦略的な情報発信 ・文化課 SNS (Facebook、Instagram) フォロワー合計 809 人 2. 文化財の情報をまとめた冊子の編集・発行・販売 ・『風媒花』第 38 号 (売上：令和7年度 161 部、現在 170 部)			

佐倉市文化財保存活用地域計画 進捗・評価シート

・『佐倉市市制施行 70 周年記念 城下町佐倉絵図集成』（売上：令和 7 年度 255 部、現在 961 部）	
3. 歴史文化に関する継続的で幅広い展示の充実	
・「ぎゅぎゅっと佐倉歴史館-レキサク-」公開 7,552 人見学 ・「城下町佐倉絵図パネル展」の実施（イオンタウンユーカリが丘、4/1～11/30） ・麻賀多神社神輿・紫裾濃胴丸・紺糸威桶側胴具足展示保管施設補助、展示協力（3 月）	
取組の進捗	一部進んでいる

【成果指標】

方向性① 「知らない」を「知っている」に	初期値 (R5)	R6	R7	R8
指定・登録文化財等の数	127 件	133 件	133 件	
佐倉の歴史・自然・文化・ゆかりの人物を知っている 人の割合（市民意識調査）	75.3%	74.3%	78.9%	

佐倉市文化財保存活用地域計画 進捗・評価シート

		No.	4
方向性	2	「知っている」を「好き」に ～魅力向上・活用・保存～	
大方針	①	他都市との差異を明確にしたブランディング	
方針	⑥	佐倉城跡や印旛沼の魅力を活かしたブランドイメージの確立	
	⑦	佐倉学に関する事業・体制の見直し	
	⑧	「歴史のまち佐倉」にふさわしいまち並み・沿道景観の形成	
令和7年度の主な取組実績・成果			
日本遺産北総四都市江戸紀行関係			
・日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会と JR 東日本千葉支社による連携 「とーんときたっ！北総」（JR 東日本千葉支社キャンペーン、令和7年4～6月） 「大人の休日倶楽部」への掲載			
・日本遺産フェスティバルをはじめとする各種イベントへのブース出展			
井野長割遺跡関係			
・国史跡指定20周年記念事業（講演会・ワークショップ）			
・史跡の部分公開整備・解説看板設置			
取組の進捗	一部進んでいる		

		No.	5
方向性	2	「知っている」を「好き」に ～魅力向上・活用・保存～	
大方針	②	教育・観光面での活用による魅力を繰り返し伝える機会の提供	
方針	⑨	体験型による新たな“楽しい”佐倉学の展開	
	⑩	本市の特性を活かした新たな観光スタイルの展開	
	⑪	観光客の誘致・消費促進に向けた拠点整備と連携体制の構築	
	⑫	誰でも気軽に訪れることができる回遊機能の強化と環境整備	
令和7年度の主な取組実績・成果			
1. 佐倉学関係			
・ 佐倉学研修会講師			
・ 井野小学校総合学習土器作り講師派遣			
・ 佐倉学検定作成委員会に委員として参画			
2. 日本遺産北総四都市江戸紀行関係			
①観光客誘致に向けた民間事業者との取組み			
・ 旅行商品造成支援事業への参画（株式会社阪急交通社、現地プレゼン10月）			
・ あなたのLOVE CHIBA 教えてキャンペーンへ参加（千葉県事業）			
・ 北総四都市江戸紀行モニターバスツアー（JR 東日本千葉支社、4～6月）			
・ 「北総四都市メタバース」プロジェクト（千葉県観光コンテンツ高付加価値化促進事業）			
・ ツアー造成協力（剣道団体、成田空港株式会社など）			

②教育旅行誘致に向けた取組み

- ・ 県内の小中学校向けの情報提供、教育旅行誘致パンフレットの配布
- ・ 教員研修の受け入れ（印旛地区教育研究会、8月）

3. 文化財に関するマップやデジタルデバイスと連動した案内板の設置

- ・ 公共・文化施設案内サービス『FACERE 施設 edition』（スマートフォンを活用した多言語音声ガイドサービス）の導入
- ・ 指定文化財の案内板の設置・更新
井野長割遺跡説明看板設置

4. 文化財施設3館入館者数

施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
武家屋敷	22,106人	24,489人	22,074人
旧堀田邸	8,388人	9,051人	8,384人
佐倉順天堂記念館	5,998人	5,866人	5,712人
合 計	36,492人	39,406人	36,170人

5. 撮影件数

- ・ 佐倉の魅力推進課の佐倉フィルムコミッション事業の一環として、映画・ドラマ等撮影の受入
- ・ 映画（1件）、配信ドラマ（2件）、PR用動画（1件） 計4件
- ・ 婚礼写真（フォトウェディング）、成人式前撮り等 40件

取組の進捗 十分進んでいる

		No.	6
方向性	2	「知っている」を「好き」に ～魅力向上・活用・保存～	
大方針	③	佐倉の魅力の源となる文化財の適切な維持管理・整備	
方針	⑬	歴史的建造物の保存整備	
	⑭	史跡・名勝・天然記念物の管理整備	
令和6年度の主な取組実績・成果			
1. 文化財施設3館をはじめとする主な修繕工事、現状変更など			
・旧堀田家住宅：玄関棟・座敷棟襖修繕、障子修繕			
・旧但馬家住宅：茅葺屋根修繕、園路改修工事、障子及び襖修繕			
・旧武居家住宅：土壁修繕			
2. 旧今井家住宅、旧平井家住宅（国登録有形文化財）の活用・保存整備			
①旧平井家住宅			
・魅力推進部佐倉の魅力推進課へ移管。耐震補強工事を実施。			

②旧今井家住宅（国登録有形文化財） ・古民家レストラン「むぎとろ 寿るがや」開店（２月）	
３．公開されている史跡・名勝・天然記念物の管理整備	
①本佐倉城跡 ・草刈５回（指定範囲の必要箇所：委託２回）、樹木伐採２回（指定範囲の必要箇所：委託１回）	
②井野長割遺跡 ・草刈５回（指定範囲の必要箇所：委託２回）、樹木伐採２回（指定範囲の必要箇所：委託１回）	
③旧堀田正倫庭園 ・網代垣修繕及び暗渠排水工事 ・松枯れ病によるマツ３本の枯死撤去、マツ１本の捕植	
取組の進捗	十分進んでいる

【成果指標】

方向性２ 「知っている」を「好き」に	初期値 (R5)	R6	R7	R8
日本遺産「北総四都市江戸紀行」の認知度 (甲冑試着会アンケートより)	16.3%	14.6%	21.7%	
市内の歴史景観が良好だと思う人の割合 (市民意識調査より)	68.8%	66.8%	71.4%	
佐倉の歴史や自然に興味がある児童生徒の割合 (佐倉市学習状況調査報告書より)	66.8% (※1)	67% (※2)	67.3% (※2)	
文化財施設入館者数	36,492 人	39,406 人	36,170 人	
佐倉に住みたい理由として「文化・歴史など魅力がある」の割合（市民意識調査より）	8.97%	8.96%	8.16%	

（※１）前回の資料で 66.8%と記載されていたが、数字に誤りがあったため修正。

なお、調査対象は小学３年生～中学３年生

（※２）調査対象は小学３年生～中学２年生

佐倉市文化財保存活用地域計画 進捗・評価シート

		No.	7
方向性	3	「好き」を「守りたい」に ～継承・担い手確保・体制整備～	
大方針	①	市民の歴史文化への想いをかたちにするための支援	
方針	⑮	伝統芸能活動団体を「地域を元気にするプレイヤー」に	
令和7年度の主な取組実績・成果			
1. 地域の伝統芸能の普及の促進 ①佐倉ばやし演奏会（佐倉囃子保存会） ・夢咲くら館エントランスホール（8月16日）215人参加 ②「さくら天下祭」の企画（さくら天下祭実行委員会） ・修復が完了し引き廻しが可能になった山車2本の引き廻しイベントの企画（3月21日） ・特別講演「徳川宗家と佐倉藩 411年の時を超えて交わる歴史」 ③市民文化資産「佐倉太鼓衆」演奏会への協力 2. 継承活動におけるモデルケースの確立とノウハウ波及に向けた支援 ・武術立身流の保持者追加認定			
取組の進捗	十分進んでいる		

		No.	8
方向性	3	「好き」を「守りたい」に　～継承・担い手確保・体制整備～	
大方針	②	次世代の文化財を守る人材、担い手の確保・育成	
方針	⑯	市民や民間団体等のニーズを踏まえた地域住民との連携体制の構築	
	⑰	歴史文化を受け継ぐ新たな担い手の育成と円滑な継承	
令和7年度の主な取組実績・成果			
1. 連携体制の構築 ・文化財ボランティアガイド佐倉の活動協力、普及啓発事業（甲冑試着会）への参画依頼 ・NPO 法人佐倉一里塚の活動協力、ツアー造成における参画依頼 ・佐倉の城跡を訪ねる会の本佐倉城見学会におけるガイド依頼			
2. 地域まちづくり事業の支援 ・地域の各種団体が行う「地域まちづくり事業」への助成金の交付や技術的な支援 うち、文化財の保存・活用に関する事業　6件			
取組の進捗		一部進んでいる	

		No.	9
方向性	3	「好き」を「守りたい」に ～継承・担い手確保・体制整備～	
大方針	③	文化財を支える体制の構築	
方針	⑱	文化財を守るための持続可能な保存・管理体制の構築	
	⑲	文化財を守るための持続可能な財源の確保	
	⑳	文化財の望ましい保存環境の構築・提案	
	㉑	展示スペースの確保とネットワーク化による「まちの博物館化」	
	㉒	地域計画の推進・進行管理による実効性の確保	
令和7年度の主な取組実績・成果			
1. 文化財の所有者・管理者・伝承団体への補助金の交付			
①経常管理・普及啓発に要する経費補助（指定文化財10件）			
・ 県指定：佐藤家住宅、堀田正俊・正睦・正倫墓、長熊廃寺跡、武術立身流、坂戸の念仏			
・ 市指定：山崎ひょうたん塚古墳、勝間田の池、佐倉囃子、青菅のどんどれえ			
旧佐倉町の祭礼用具			
②修復・保存整備等に要する経費補助			
・ 県指定：「紫裾濃胴丸」修理【県補助金】			
・ 県指定：「武術 立身流」用具整備【県補助金】			
・ 「旧佐倉町の祭礼用具」二番町玉乃井龍神人形山車【文化庁補助金】			
・ 「麻賀多神社神輿渡御」用具整備			
・ 「麻賀多神社神輿・紫裾濃胴丸・紺糸威桶側胴具足展示保管施設」建設			
・ 「佐倉囃子」用具整備			
2. 文化財を守るための持続可能な財源の確保			
①文化財施設の入館料・使用料などの収入（令和7年度）			
・ 入館料 7,134,570円 （令和6年度）7,728,160円			
・ 使用料 4,623,500円 2,001,000円			
・ 総額 11,758,070円 9,729,160円			
②ふるさと納税の導入による財源の維持・拡大			
・ 令和7年度実績			
歴史と文化 8,526,100円 ※令和7年4月よりふるさと納税のメニューを一つに統合			
※令和6年度 日本遺産 4,111,500円			
文化振興 1,008,000円 合計 5,119,500円			
3. 埋蔵文化財事務関係			
①埋蔵文化財取扱い確認・協議件数 35件（昨年50件）			
・ 文化財保護法届出通知必要 7件			
・ 文化財保護法届出通知不要 28件			
②文化財保護法92条の届出（発掘調査） 3件（昨年4件）			

佐倉市文化財保存活用地域計画 進捗・評価シート

※公益財団法人印旛郡市文化財センター他

③文化財保護法９３条の届出（民間） １０３件（昨年９０件）

【取扱い：・慎重工事３０・工事立会４７・発掘調査２６】

④文化財保護法９４条の通知（公共） ９件（昨年７件）

※国０件、県０件、市６件、ＮＴＴ３件

【取扱い：慎重工事１・工事立会７・発掘調査１】

４．文化財の望ましい保存環境の構築・提案

・佐倉市内美術工芸品把握調査

美術工芸品調査だけでなく保存環境の実態、要望などについても把握

取組の進捗

十分進んでいる

【成果指標】

方向性３ 「好き」を 「守りたい」に	初期値 (R5)	R6	R7	R8
文化財の保存団体・継承団体の数	10 団体	11 団体	11 団体	
文化財の保存・活用に関する補助金 の交付件数、交付金額（国・県・民間 の補助金等を含む）	18 件 11,280 千円	17 件 29,836 千円	16 件 9,181 千円	
ふるさとまちづくり応援寄付「歴史 と文化のまち佐倉を応援したい！」 の寄附件数、金額	96 件 1,204,000 円	145 件 5,119,500 円	297 件 8,526,100 円	

関連文化財群・保存活用区域 進捗・評価シート

		No.	関連文化財群 1
関連文化財群	①	豊かな自然が育んだ印旛沼文化	
令和7年度の主な取組実績・成果			
本佐倉城跡保存整備事業			
・草刈5回（指定範囲の必要箇所：委託2回）			
・樹木伐採2回（指定範囲の必要箇所：委託1回）			
・現地見学会（3月7日）※酒々井町と共催			
井野長割遺跡保存整備事業			
・草刈5回（指定範囲の必要箇所：委託2回）			
・樹木伐採2回（指定範囲の必要箇所：委託1回）			
・井野長割遺跡現地見学会（8月5日・3月1日）			
・井野長割遺跡講演会・パネル展示（12月13日）			
・井野長割遺跡ワークショップ（8月23日・2月14日）			
・史跡の部分公開			
取組の進捗		一部進んでいる	

		No.	関連文化財群 2
関連文化財群	②	地域で継承される祈りと暮らし	
令和 7 年度の主な取組実績・成果			
1. 関連文化財の指定			
・立崎家住宅（清風居） 主屋 1 棟 国登録（令和 8 年 3 月 26 日に答申）			
2. 歴史文化に関する継続的で幅広い展示の充実			
・麻賀多神社神輿・紫裾濃胴丸・紺糸威桶側胴具足展示保管施設補助、展示協力（3 月）			
3. 地域の伝統芸能の普及の促進			
①佐倉ばやし演奏会（佐倉囃子保存会）			
・夢咲くら館エントランスホール（8 月 16 日）215 人参加			
②「さくら天下祭」の企画（さくら天下祭実行委員会）			
・修復が完了し引き廻しが可能になった山車 2 本の引き廻しイベントの企画（3 月 21 日）			
・特別講演「徳川宗家と佐倉藩 411 年の時を超えて交わる歴史」			
③市民文化資産「佐倉太鼓衆」演奏会への協力			
4. 文化財の所有者・管理者・伝承団体への補助金の交付			
①経常管理・普及啓発に要する経費補助			
・県指定：坂戸の念仏 ・市指定：佐倉囃子、青菅のどんどれえ、旧佐倉町の祭礼用具			

②修復・保存整備等に要する経費補助 ・県指定：「紫裾濃胴丸」修理【県補助金】 ・「旧佐倉町の祭礼用具」二番町玉乃井龍神人形山車【文化庁補助金】 ・「麻賀多神社神輿渡御」用具整備 ・「麻賀多神社神輿・紫裾濃胴丸等展示保管施設」建設 ・「佐倉囃子」用具整備	
5. 保存環境の実態に関する調査とより望ましい保存環境の構築・提案 ・佐倉市内美術工芸品把握調査 市内6か所の寺院の調査を実施 印旛沼周辺の信仰に関わる平安期の仏像、千葉氏・仏師浄慶に関わる戦国期の仏像等を把握	
取組の進捗	一部進んでいる

		No.	文化財保存活用区域
文化財保存活用区域	江戸を支え、江戸と結ばれた城下町		
令和7年度の主な取組実績・成果			
1. 城下町の歴史文化の魅力をより深く知ってもらう「追体験」の企画・実施			
・文化財施設特別公開 6回実施 計2225人入館			
・甲冑試着会 5回実施 計113人参加			
・夏休み文化財施設小中学生無料公開（対象：市内外の小・中学生）412人入館			
2. 城下町の歴史文化の価値や魅力に別の価値や魅力を付加する「新体験」の企画・実施			
・旧堀田正倫庭園活用事業（民間団体による主催、市共催）			
庭と音楽と夕暮れ ヒーリング音楽の演奏（宮内優里）（5月25日）134人参加			
・佐倉城跡でのアート&クラフトフェア・チバ「にわのわ」の実施			
・「北総四都市メタバース」佐倉市部分（ひよどり坂・佐倉城）デモプレイ			
3. 旧城下町周辺の構成文化財の情報をまとめた冊子の編集・発行・販売			
・『佐倉市市制施行70周年記念 城下町佐倉絵図集成』（売上：令和7年度255部、現在961部）			
4. シティプロモーションにおける旧城下町に関する魅力の明確化			
・日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会とJR東日本千葉支社による連携			
「とーんときたっ！北総」（JR東日本千葉支社キャンペーン、令和7年4～6月）			
「大人の休日倶楽部」への掲載			
・日本遺産フェスティバルをはじめとする各種イベントへのブース出展			
5. 日本遺産の構成文化財を活用した体験プログラムの造成・販売・ブラッシュアップ			
・旅行商品造成支援事業への参画（株式会社阪急交通社、現地プレゼン10月）			

- ・あなたの LOVE CHIBA 教えてキャンペーンへ参加（千葉県事業）
- ・北総四都市江戸紀行モニターバスツアー（JR 東日本千葉支社、4～6 月）
- ・「北総四都市メタバース」プロジェクト（千葉県観光コンテンツ高付加価値化促進事業）
- ・ツアー造成協力（剣道団体、成田空港株式会社など）

6. 城下町の歴史文化をテーマとした社会科見学や修学旅行などの教育旅行の誘致

- ・県内の小中学校向けの情報提供、教育旅行誘致パンフレットの配布
- ・教員研修の受け入れ（印旛地区教育研究会、8 月）

7. 文化財に関するマップやデジタルデバイスと連動した案内板の設置

- ・公共・文化施設案内サービス『FACERE 施設 edition』（スマートフォンを活用した多言語音声ガイドサービス）の導入

8. 文化財施設 3 館入館者数

施設名	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
武家屋敷	22,106 人	24,489 人	24,074 人
旧堀田邸	8,388 人	9,051 人	8,384 人
佐倉順天堂記念館	5,998 人	5,866 人	5,712 人
合 計	36,492 人	39,406 人	36,170 人

9. 撮影件数

- ・佐倉の魅力推進課の佐倉フィルムコミッション事業の一環として、映画・ドラマ等撮影の受入
- ・映画（1 件）、配信ドラマ（2 件）、PR 用動画（1 件） 計 4 件
- ・婚礼写真（フォトウェディング）、成人式前撮り等 40 件

10. 文化財を守るための持続可能な財源の確保

①文化財施設の入館料・使用料などの収入

- ・入館料 7,134,570 円 ※令和 6 年度 7,728,160 円
- ・使用料 4,623,500 円 2,001,000 円
- ・総額 11,758,070 円 9,729,160 円

②ふるさと納税の導入による財源の維持・拡大

- ・令和 7 年度実績

歴史と文化 8,526,100 円 ※令和 7 年 4 月よりふるさと納税のメニューを一つに統合

※令和 6 年度 日本遺産 4,111,500 円

文化振興 1,008,000 円 合計 5,119,500 円

取組の進捗

十分進んでいる

令和7年度文化財施設入館状況

(単位 人)

		単館券による入館者			3館共通券による入館者			減免入館者			合 計		
		R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減
武家屋敷	個人	15,915	14,343	-1,572	2,959	2,952	-7						
	団体	2,171	1,682	-489	243	231	-12						
	計	18,086	16,025	-2,061	3,202	3,183	-19	3,201	2,866	-335	24,489	22,074	-2,415
旧堀田邸	個人	3,437	3,135	-302	2,960	2,779	-181						
	団体	666	506	-160	200	245	45						
	計	4,103	3,641	-462	3,160	3,024	-136	1,788	1,719	-69	9,051	8,384	-667
佐倉順天堂記念館	個人	1,673	1,638	-35	2,396	2,249	-147						
	団体	333	169	-164	159	181	22						
	計	2,006	1,807	-199	2,555	2,430	-125	1,305	1,475	170	5,866	5,712	-154
合 計		24,195	21,473	-2,722	8,917	8,637	-280	6,294	6,060	-234	39,406	36,170	-3,236

(単位 円)

		単館券販売			3館共通券販売			合 計		
		R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減
入館料収入(3館合計)		5,765,590	5,228,970	-536,620	1,962,570	1,905,600	-56,970	7,728,160	7,134,570	-593,590

令和7年度 文化財関係行事実績

	事業名	対象	期日等	内容
1	文化財施設特別公開	一般	4/29、5/5、 9/16、11/3、 11/23、2/11	武家屋敷・旧堀田邸・佐倉順天堂記念館の通常非公開としている箇所及び資料を公開した。 [武家屋敷：旧河原家住宅室内、旧堀田邸：書斎棟・居間棟2階、順天堂：医学史関連資料] 4/29：461人 5/5：820人 9/16：290人 11/3：295人 11/23：247人 2/11：112人
2	甲冑試着会	一般 児童・生徒	4/29、5/5、 9/16、11/3、2/11	江戸時代の資料をもとに復元した佐倉藩士の甲冑を身に着け、武家の文化を体感する。 (参加費：一般200円、学生100円) 会場：武家屋敷(4/29、5/5、11/3、2/11)、夢咲くら館(9/16) 協力：文化財ボランティアガイド佐倉 参加者：4/29：19人 5/5：50人 9/16：10人 11/3：21人 2/11：13人
3	旧平井家住宅トライアルサ ウンディング	一般	随時	旧平井家住宅の利活用の方法等を検討するため、佐倉の魅力推進課がトライアルサウンディング(民間事業者によるお試し出店)を実施
4	庭と音楽と夕暮れ	一般	5/25	国名勝旧堀田正倫庭園で演奏会を開催。市民団体と共催。 134人参加
5	佐倉ばやし演奏会	一般	8/16	市指定無形民俗文化財「佐倉囃子」の演奏会。 出演：佐倉囃子保存会 会場：夢咲くら館 215人参加
6	本佐倉城跡見学会	一般	3/7	国指定史跡本佐倉城の見学会。酒々井町と共催。 ガイド：佐倉市・酒々井町の市民団体。70人参加
7	井野長割遺跡見学会	一般 児童・生徒	8/5、3/1	井野長割遺跡の見学とワークショップ(縄文しおり作り、復元土器での煮沸実験等) 会場：井野長割遺跡 8/5：82人 3/1：141人
8	井野長割遺跡ワークショッ プ	一般 児童・生徒	8/23、2/14	国史跡20周年の記念事業。8月は小中学生を対象に、出土した土器に付着した植物圧痕をシリコンでかたど り、顕微鏡で観察して縄文時代の食生活を学習した。2月は縄文土器の底部にある網代痕を観察するため、竹職 人の指導で、篠竹でコースター作りを実施した。8/23：12人 2/14：10人
9	井野長割遺跡講演会・パネ ル展示	一般	12/13	国史跡20周年の記念事業。講演会では「印旛地域の縄文時代後・晩期の社会～大形竪穴住居跡から探る～」を テーマに実施し、遺物展示も行った。併せて図・写真入りの解説パネルを製作し、講演会会場や公共施設でパネ ル展示を実施した。12/13：150人 パネル展示12/11～12/14・2/4～3/15：のべ7,010人
10	学校・社会教育講師派遣	一般 児童・生徒	随時	佐倉市民カレッジ等の公民館事業、学校等への講師派遣 中央公民館、志津公民館、井野小学校、和田小学校など
11	ミレニアムセンター展示	一般	常時	ミレニアムセンター2階防災啓発センター跡地を利用した佐倉の歴史展示(3年程度の暫定展示) 4～6月：2,064人 7～9月：2,412人 10～12月：1,712人、1～3月：1,364人 年間計7,552人
12	夢咲くら館 佐倉を学ぶフロア展示	一般	常時	市史編さん担当が行う佐倉の歴史展示の一部を分担した。
13	城下町佐倉絵図集成パネル 展「佐倉城を描く。城下町 を描く。」	一般	4/1～11/30	昨年度に引き続き、イオンタウンユウカリが丘店で城絵図を解説するパネル展を行った。

令和 8 年度 文化財関係の主な事業

1	佐倉・長崎関連企画展 「醫風一変 ―佐倉・長崎・オランダ 仁を尽くした幕末・明治の医師たち
---	--

【目的】

- ・佐倉・長崎の交流・歴史的な関係、魅力について深く知る機会を提供するため、幕末・明治の医学史、佐倉・長崎・オランダ、順天堂をめぐる資料等の企画展示の実施

【概要】

- ・事業名 「醫風一変 ―佐倉・長崎・オランダ 仁を尽くした幕末・明治の医師たち
- ・会場 佐倉市立美術館 2・3階展示室
- ・期間 2027年1月23日(土)～3月22日(月・祝) ※入館無料

【内容】

- ・章立て
はじめに
第1章 佐倉と長崎の蘭医学
1. 佐倉藩の蘭医学と佐藤泰然による佐倉順天堂の開設
2. 長崎における近代医学の夜明け
第2章 同世代の三人
1. 佐藤尚中 ―小見川から江戸、そして佐倉へ
2. 松本良順 ―泰然次男、松本家を継ぐ・幕府奥医師ながら蘭医学を志す
3. ポンペ ―ユトレヒト陸軍軍医学校を卒業・来日までのいきさつ
第3章 ポンペ「日本における五年間」
1. ポンペの来日、松本良順との邂逅
2. 日本で初めての本格的な近代医学教育
3. ポンペの「仁」の心 ―コレラ・天然痘との闘い
4. 尚中の長崎留学と泰然
5. 長崎養生所の開設
第4章 その後の養生所、順天堂
1. 三人が去った後の長崎の蘭医学
2. 養生所から精得館、そして長崎医学校
3. 尚中の実践と順天堂
4. もうひとつの養生所

おわりに

【今後のスケジュール】

- ・7月 長崎にて資料確認調査
- ・8月 借用資料等の確定、運搬業務、図録作成、誌面広告等契約準備
- ・秋 図録編集、展示レイアウト作成
- ・年内 資料借用
- ・1月 展示作業、企画展示スタート

2	「北総四都市メタバース」 日本遺産を活用した日本初メタバース・eスポーツツーリズム事業
---	--

【目的】

- ・佐倉市、成田市、佐原(香取市)、銚子市の「北総四都市」を舞台に、江戸時代の街並みを再現したメタバース空間での体験を通じて、若年層の新たな観光需要を創出し、地域経済の活性化に貢献することを目的とする。

【経緯】

- ・令和6年度 株式会社GamingVより事業提案あり。
- ・令和7年度 千葉県「観光コンテンツ高付加価値化促進事業」に応募・採択
- ・令和8年度 正式リリース、日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会と連携協定

【内容】

▶ターゲット：Z世代

- ・歴史文化に関わるコンテンツ、若い世代が参加してみたいと思うものが不足
→Z世代に高い人気を誇る「Fortnite（フォートナイト）」をプラットフォームとして活用し、ゲーム、eスポーツという若者に身近な入口から興味を喚起する。

▶リアルとバーチャルをつなぎ、現地への誘客を促す

- ・地域活性化のためのメタバースの活用は、バーチャル空間内で完結してしまうものが多く、リアルとの関係が希薄。
→現地を訪れることで限定アイテムがもらえる仕組みやゲームクリアでクーポンがもらえる仕組みを実装することで周遊を促す。また、小中学生を対象としたクリエイター体験を実施し、地域への愛着・デジタル教育の機会を創出。

【今後のスケジュール】

- ・6月 正式リリース、日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会と連携協定
- ・7月 志津コミュニティセンターにてeスポーツ大会イベント
- ・秋 ツーリズムEXPO、日本遺産フェスティバルなどPR出展

3	佐倉市内寺院美術工芸品把握調査
---	-----------------

【今年度実績】

- ・6月2日 千手院（井野・真言宗）
- ・6月23日 昌柏寺（本町・日蓮宗）※予定

【調査結果概要】

▶千手院（井野・真言宗）

- ・千手観音菩薩坐像：千手院本尊。想定よりも当初の姿を残す。南北朝期の作例か。
- ・幕末・明治の地元仏師（木村光山、杉山林哲）の修理銘のある像数点を確認

▶昌柏寺（本町・日蓮宗）

- ・佐倉藩主を務めた松平家に関わる美術工芸品（袈裟・釣燈籠）などを確認
- ・数量が多いため複数回に分けて調査を重点的に行いたい。

【内容】

- ・市内にある約950カ所ある埋蔵文化財包蔵地について、その範囲や範囲内での届出・取扱い履歴、発掘調査内容などを空間情報としてデジタル化し、地図上で一元管理するシステムを構築する。実施することにより、埋蔵文化財の保護に関わる諸手続きの効率化と迅速化を図ることができる。
- ・令和8年度にデータ整備・構築を行い、令和9年度から運用する予定。

ほうこんごうじこんどうせいかんじょうどうぐるい
「宝金剛寺金銅製灌頂道具類」指定理由書（案）

1. 種 別 有形文化財・工芸
2. 名 称 宝金剛寺金銅製灌頂道具類
 - (1) 宝冠
 - (2) 玉幡
 - (3) 幡 附木箱板
 - (4) 玉幡
3. 員 数
 - (1) 宝冠 一対
 - (2) 玉幡 二旒一対
 - (3) 幡 二旒一対 附木箱板
 - (4) 玉幡 二旒一対
4. 所 有 者（管理責任者） 宗教法人 宝金剛寺
5. 所 在 地 佐倉市直弥38番地1

6. 指定理由

ほうこんごうじこんどうせいかんじょうどうぐるい
宝金剛寺金銅製灌頂道具類は、佐倉市直弥の宝金剛寺（真言宗豊山派）に伝来した灌頂道具類で、宝冠、^{ぎよくばん}玉幡2種、^{ばん}幡が残る。これらは、灌頂道具の構成にみる仏具であり、17世紀から18世紀の制作年代をうかがうことができる。いずれも金銅製の灌頂道具である。

（1）宝冠

二個一組で差し込み式の日輪・月輪の前立、^{たれかざり}垂飾や剣状の^{かんざし}簪、管を有す。全体は純銅製で、本体の表には鍍金が施されている。日輪の前立は軸部を鍍銀、輪を鍍金とし、月輪の前立は軸部を鍍金、輪を鍍銀と使い分ける。灌頂道具における宝冠と共通する特色がみられる。

側面には「元和六年（1620）十二月吉日」「寶金剛寺覺秀求之」の刻銘がある。^{かくしゅう}覺秀は慶長15年（1610）から正保4年（1647）の宝金剛寺の住職。宝冠は彼によって求められたこ

とがわかる。覚秀は、北条氏勝から厚く帰依を受けた覚朝^{かくちょう}の次の代の住職であり、覚朝の追善のために正保年間頃に五輪塔を造立し、氏勝と覚朝の位牌を誂えた人物として知られている。慶長13年（1608）10月17日に覚朝が覚尊に付法を行うなど、宝冠の制作前より宝金剛寺は伝法灌頂^{でんぼうかんじょう}を行う真言道場として位置付けられていたことから、こうした灌頂道具を求めたものと考えられる。

慶長16年（1611）の氏勝没後、岩富藩は氏勝の末期養子であった氏重^{うじしげ}が継承したが、慶長18年には下野富田（栃木県栃木市）に転封されている。覚朝の代では氏勝、大名の菩提寺としての役割を果たした宝金剛寺も、次の覚秀の代では旧来の土豪層、村役人といった人々を支持基盤とする地域の中心寺院へと役割が変化したと位置づけられている。宝冠の制作に際して、特定のパトロンがいたことを示す内容はないことから、こうした変化をうかがわせる資料の一つと捉えることもできる。

（2）玉幡

幡頭^{ばんとう}・幡身^{ばんしん}とも銅板を線刻、鍍金した金銅板の一对の幡。幡頭^{ばんそく}から幡足の根本まで一枚の板で造り、州浜形の幡頭に雲文、三坪の幡身は、第一坪より輪宝・羯磨^{かつま}・蓮華を線刻し、間地に魚々子を打つ。線刻を片面のみに施す片面式で透彫はない。幡足は四条で、花菱形を横四条分、一枚板から切り出した五枚及び金銅瓔珞四段を、緑・黄・紫・無色のガラス玉と交互^{れんてい}に連綴している。

裏面の幡身縁に左右に分け「下総國印旛郡直弥村皓月山静覚院寶金剛寺什物」「岢宝永二乙酉年 九月吉日 法印亮快代求之」と刻まれている。亮快は宝金剛寺第22代住職。宝冠とこの玉幡とは年記に時代差があるが、寺院に伝来する灌頂道具類の間に時代差があることや、複数のセットが伝来することはまあある例であるといい、本玉幡も灌頂道具類の一つであったと考えられる。

（3）幡 附木箱板

幡頭・幡身は一枚板からなり、幡頭は三角、幡身は三坪で、角坪には蓮華を線刻し、間地に魚々子を打ち、坪界や縁には連点唐草文^{つぽかい}をあらわし、透彫はない。幡足は四条であるがガ

ラス玉の連綴ではなく、金銅剣形板四枚を幡身の下部に蝶番で繋ぎ、足先には鈴を垂らす。
幡手ばんしゅも同様に、左右各四条の金銅剣形板を幡身の坪界に鉾留している。幡身は片面線刻だが、
幡手は両面に線刻されている。幡頭中央から垂れる一条の幡舌ばんぜつを付けている。幡手・幡足・
幡舌には魚々子しっぽうつなぎもんに七宝 繫 文を線刻する。

本体には由来を示す刻記などはないが、正徳 4 年（1714）の墨書のある木箱板が付属している。箱には「地蔵講結衆」「寄進たまはた瑤幢二流寶金剛寺俊専代」「于時正徳四年甲午歳霜月廿四日」とあるほか、直弥村、寒風村、天辺村、宮本村、米戸村、八木村、下勝田村の結衆の名前が墨書されている。俊専は亮快の次の代の宝金剛寺住職を務めている。金銅幡では類例の稀有な作例で、七宝繫文などの文様が先の玉幡とよく似ている。時代や制作環境の近似性をよく物語っているといえ、年記を有する基準作として評価できる。

（4）玉幡

幡頭・幡身ともに金銅幡を線刻、鍍金した金銅製の玉幡である。州浜形の幡頭に魚々子、三坪の幡身はいずれも魚々子地に蓮華を線刻する。幡身の縁や坪界には連点唐草文をあらわす。線刻を片面のみに施し、透彫はない。幡足は四条で、単独の花菱形金銅金具をガラス玉と交互に連綴する。材式構成としては玉幡の形制をとるものであるが、小型で坪の模様もすべて蓮華である。線刻や文様など作風は先の玉幡、幡に共通し、同時期の作と判断される。

これらの灌頂道具は同時に詠えられたものではないものの、江戸時代初期から中期にかけて制作されたことが明らかである。また、現状市内で同類のものは確認されておらず、いずれも造形に優れた美術史的価値の高い貴重な作例である。そして宝金剛寺は、少なくとも江戸時代初期には伝法灌頂を行う真言道場として位置付けられていたことがわかっており、あわせてこれらの灌頂道具が伝来していることは、地域の中核寺院という位相を示す好例といえる。よって、これらの文化財は真言密教の儀礼で用いられる灌頂道具として貴重であるとともに、宝金剛寺が近世的な地域の中核寺院としての役割を果たしたことを示すうえでも重要な作例といえ、指定文化財にふさわしい。

佐倉幼稚園旧蔵の青い目の人形（ナンシー・メリー）について



1. 概要

- ・昭和2年（1927）、国際親善のためアメリカから日本全国に贈られた約1万2000体の人形のうちのひとつが佐倉市に1体残っている。当時、佐倉には佐倉小学校と佐倉幼稚園に贈られたことがわかっており、現存する「ナンシー・メリー」は佐倉幼稚園に贈られたもの。
- ・第二次世界大戦時は、敵性人形などとみなされ多くが処分されてしまったが、この人形は人目につかないように隠され、棚の隅に30数年にわたり置かれていたという。その後、他の地域の青い目の人形が展示されているのを目にした佐倉幼稚園の元職員が勤務先にも同様の人形があることを思い出し、発見に至ったといわれる。
- ・「ナンシー・メリー」はホースマン（Horseman）社製のいわゆるコンポジションドール。青い目の人形は眠り目になる仕掛け（スリーピングアイ）が特徴的であるが、この人形は描き目となっている。衣装は当時の交流事業にかかわった子どもたちの手によって手作りされたものを着用させているという。

2. 現状

- ・製造後約100年を経過したため、各部にひびが入るなど全体として経年劣化が見られたため、環境の良い保管場所でこれ以上の劣化を防ぐ必要があった。
- ・また、佐倉幼稚園が令和8年3月末で閉園になることに伴い、園、文化課、美術館で協議を行い、人形の保管を佐倉市立美術館に移管。現在は美術館の収蔵庫に保管されている。

3. 今後について

- ・11月の日米人形交流100年を記念するシンポジウム・展示等に協力予定
主催：日米人形交流記念プロジェクト実行委員会、場所：千葉大学
- ・指定に向けて次回審議会での諮問・答申をお願いしたい。